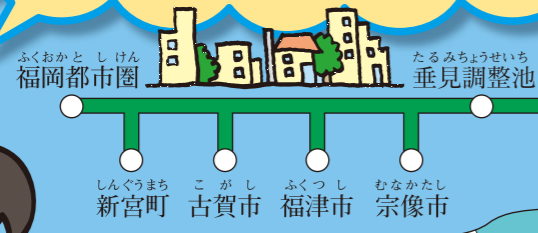
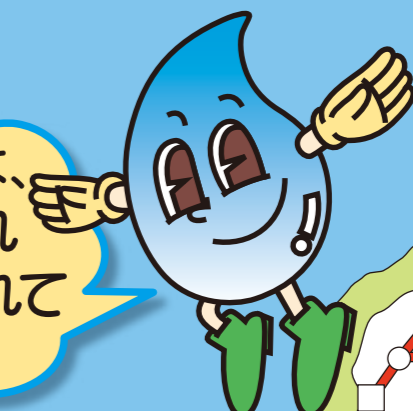


# 3 北九州市の水はどこから

わたしたちが毎日使っている水道の水はどこから送られてくるのだろう。



みんなの家には、どこで取り入れられた水が送られているのかな。



●写真と地図を線で結んでみよう。

貯水池や川から、1日に取り入れることのできる水の量 (最大76.9万 $m^3$ )

市内の水源

市外の水源

畑貯水池 2万4,000 $m^3$   
葛牧取水場 4万1,000 $m^3$

ます淵貯水池 9万2,000 $m^3$

油木貯水池 10万6,000 $m^3$

平成大堰 (垂水取水場) 5万9,000 $m^3$

中間取水場 6万9,000 $m^3$

遠賀川河口堰 (猪熊取水場) 7万1,000 $m^3$

力丸貯水池 7万2,000 $m^3$

伊佐座取水場 22万9,000 $m^3$

道原貯水池 7,800 $m^3$



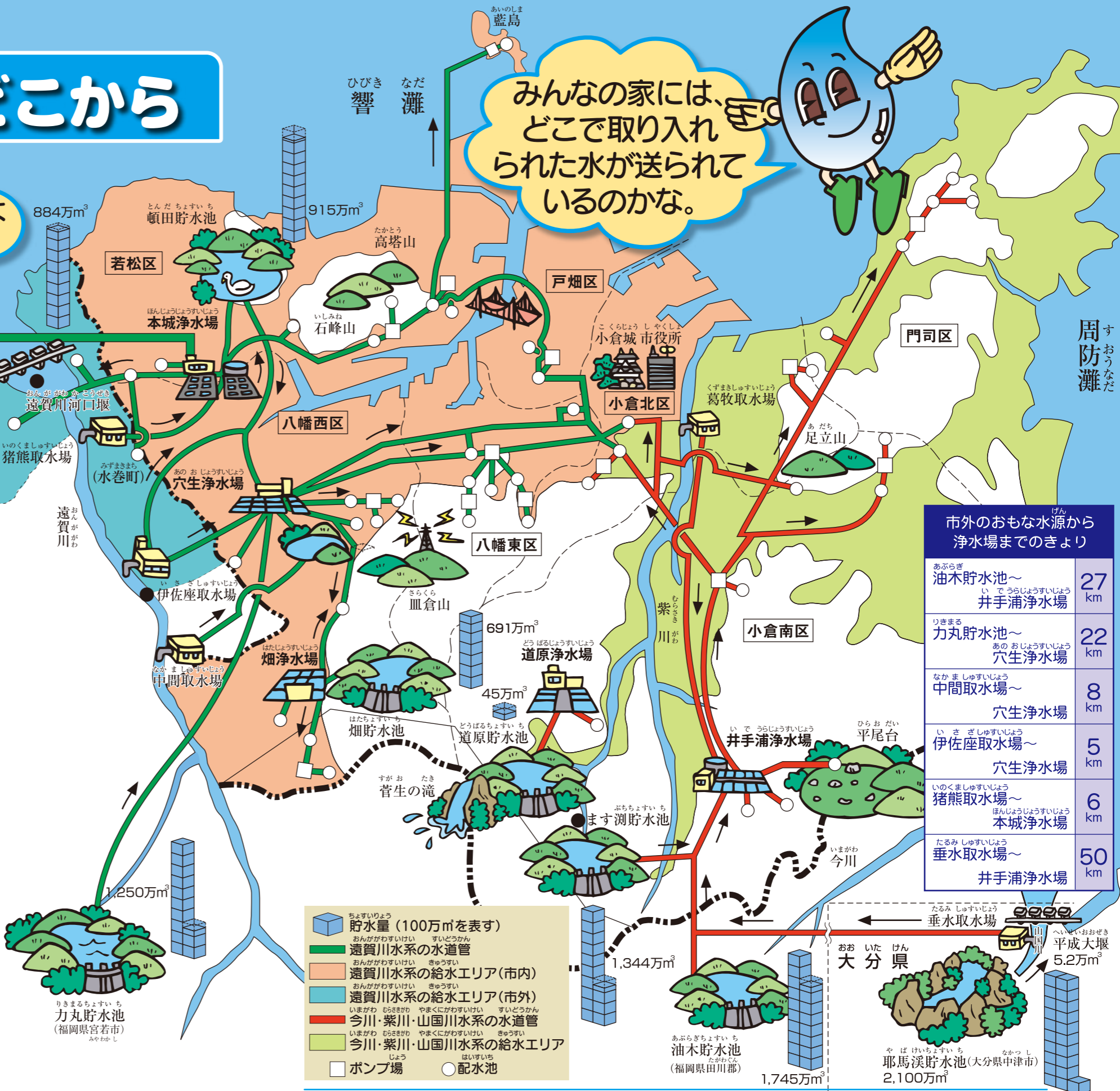
おんががわ かこうぜき (左岸 遠賀郡芦屋町 右岸 遠賀郡水巻町) 遠賀川河口堰



いさざしすいじょう 伊佐座取水場 (遠賀郡水巻町)



おちちすいじょう ます淵貯水池 (小倉南区)



市外のおもな水源から浄水場までのきょり

あぶらぎ 油木貯水池～	いであらじょうすいじょう 井手浦浄水場	27 km
りきまる 力丸貯水池～	あのおしじょうすいじょう 穴生浄水場	22 km
なかましすいじょう 中間取水場～	あのおしじょうすいじょう 穴生浄水場	8 km
いさざしすいじょう 伊佐座取水場～	あのおしじょうすいじょう 穴生浄水場	5 km
いのくましすいじょう 猪熊取水場～	ほんじょうすいじょう 本城浄水場	6 km
たるみしすいじょう 垂水取水場～	いであらじょうすいじょう 井手浦浄水場	50 km

貯水量 (100万 $m^3$ を表す)

- おんががわすいじょうすいじょう 遠賀川水系の水道管
- おんががわすいじょうすいじょう 遠賀川水系の給水エリア (市内)
- いまいがわすいじょうすいじょう 遠賀川水系の給水エリア (市外)
- いまがわすいじょうすいじょう 今川・紫川・山国川水系の水道管
- いまがわすいじょうすいじょう 今川・紫川・山国川水系の給水エリア
- ポンプ場
- 配水池

★指導上の留意点★  
自分の住んでいる地区に、どこで取り入れられた水が送られてくるか、指でたどらせ確かめるようにします。北九州市は市内に大きな河川がないため、遠賀川を最大の取水源としています。また主な貯水施設では、油木貯水池、ます淵貯水池、力丸貯水池がありますが、このうち市内にあるのは、ます淵貯水池だけです。市内での取水能力は1日最大163,000 $m^3$ で、全体の約21%にしかなりません。このようなことから、他の市町村との協力関係に目を向けさせてください。頼田貯水池は、伊佐座取水場で取水した水を貯めています。※上の図の ひとつ (100万 $m^3$ ) は、学校のプール約4,760杯分の水の量に相当します。